

# 町政を問う

## 町長の任期満了が近づく



野坂 明典

### 町長！続投の意志は？ 町長 白紙であるが責任ある対応をする

**野坂** 町長任期が残すところ六ヶ月を切った。

町長は初当選の時、行財政改革を断行するなど抱負を述べている。

これまでの実績は評価するところも多々あるが、未だ道半ばのところもあると思う。住田町政を継承したうえで、新しいまちづくりの実現にはあまりにも時間が少なかつたと思つ。伯耆町には基幹産業の農業の振興をはじめ課題が山積している。

森安町政は緒に着いたばかりのところだ。任期を迎えるが、来期の去就に私どもをはじめ、町民は関心を抱いている。町長の現在の心境を聞く。

**町長** 基礎自治体の長は責任が大きく、その長の姿勢によって行政のスタイルも変わってくる。

二十三年までは課題の処理が精一杯であつて、現在は白紙の状態である。今年度より少し余裕が生まれてきたので、振り返りながら考えている。

状況を見ながら態度を決めるが、このことは重要なことであると自覚している。手順を追つて責任ある対応をする。

状況を見ながら態度を決めるが、このことは重要なことであると自覚している。手順を追つて責任ある対応をする。

### 少子高齢者対策

**野坂** 伯耆町では人口減少が続いている。

人口減に歯止めをかけるには、少子化を防ぎ、若者の定住を増加させる政策が必要である。

学校を卒業し本町に定住する若者の数が少ないのが現状である。決して本町が住みにくい環境であるとは考えられず、水

も空気もきれいで、インフラ整備も充実しており住みたいと思う方が多いと考えている。

しかしながら若者の定住が進まないのは就職が困難であることが大きな原因の一つと考える。

そのためには企業誘致が重要な政策である。町内に企業誘致ができなくても、通勤可能なところに就職口があれば若者は町外に出ることなく定住する。

町長は以前に町単独でなく西部圏域で企業誘致に取り組みと言われていたが、その後の経過と見通しについて説明された。

**町長** 広域企業誘致は三年前から西部圏域の市町村長が整備を共有して取り組みを始めた。



執務中の森安町長

最近になって少しずつ成果が出てきている。今年の春に東京のビッグサイトで共同の説明会を開催した。結果はすぐには

出ないが継続して取り組むことが重要と考えている。